

令和4年度 第9回大潟区地域協議会次第

日時 令和4年11月24日(木) 午後6時30分から
会場 大潟コミュニティプラザ2階 大会議室

1 開会

2 会長あいさつ

3 報告事項

(1) 「新市建設計画の変更について」の答申に対する回答について 資料No.1

4 協議事項

(1) 自主的審議事項「大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館の利活用促進について」
資料No.2

(2) 地域活性化の方向性について 資料No.3～No.4

5 その他

6 閉会

令和4年10月31日

(宛先) 上越市長

大潟区地域協議会
会長 佐藤 忠治

新市建設計画の変更について (答申)

令和4年8月9日付上企第29045-21号で諮問のあった、諮問第63号：新市建設計画の変更について、地域住民の生活に支障はないものと認めます。

令和4年11月24日(木)
第9回大潟区地域協議会
資料 1-2

上企第 37637-21 号
令和 4 年 11 月 10 日

大潟区地域協議会
会長 佐藤 忠治 様

上越市長 中川 幹 太
(企画政策部企画政策課)



新市建設計画の変更について（通知）

令和 4 年 10 月 31 日付けで答申のあった諮問第 63 号新市建設計画の変更について、下記のとおりとしますので、お知らせします。

記

新市建設計画の変更について、計画を変更する手続きを進めることとします。
今後、パブリックコメント、県との法定の協議を経て、令和 5 年上越市議会 3 月定例会に議案を提出する予定です。

令和4年 月 日

上越市長 中 川 幹 太 様

大潟区地域協議会
会長 佐藤 忠治

大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館の利活用促進にむけた
大潟区地域協議会からの提言について（意見書）

このことについて、上越市域自治区の設置に関する条例第7条第1項の規定に基づき、下記のとおり当協議会の意見を取りまとめましたので提出します。

記

大潟区地域協議会では、大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館（以下：鵜の浜人魚館）が上越市唯一の温泉街で観光資源の大きなひとつ「鵜の浜温泉」の一角にあるにもかかわらず、利活用の促進が進んでいない現状について見聞きしてまいりました。

また、大潟区九戸浜に建設された上越体操場（ジムリーナ）の完成に伴い、東京オリンピックのドイツ体操選手団の事前合宿の受け入れや、体操競技の大会及び合宿の開催による体操関係者の訪問や、県立大潟水と森公園の利用者など交流人口の拡大が予想されておりました。しかしながら、公の施設である鵜の浜人魚館の利活用が促進されていない現状については、上越市及び大潟区にとって極めて重要な課題として、令和3年度の大潟区地域協議会の自主的審議事項として「大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館の利活用促進について」をテーマとして協議してまいりました。

そこで、貴施設への視察や鵜の浜人魚館職員の方々との意見交換及び今後の改善の方策や収支報告をお聴きするなかで、地域協議会で協議してきた結果を提言という形で【別紙】に示す内容でまとめましたので報告させていただきます。

今般、新型コロナウイルスの感染が未だ収束の兆しが見えないなか、貴施設の関係各位においては大変厳しい状況にあるものと認識しております。

そのようななかで10月29日・30日に鵜の浜人魚館開館25周年記念-秋の感謝祭が開催され、壁画制作お披露目会など多彩な催しが行なわれました。開館以来今日まで、地域住民の憩いの場、健康維持、増進の場としてこれまで営業されてこられたことに敬意を表します。この提言が利活用促進の一助にいただければ幸いです。

大潟区地域協議会としましても、(株)大潟地域活性化センターと連携しながら鵜の浜人魚館の利活用の促進、大潟区の活性化、観光振興・交流人口の拡大に向け議論を深め、活動していきたいと考えております。

つきましては、ご支援、ご指導をよろしく申し上げます。

大湊健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館の利活用促進に向けた
大湊区地域協議会からの提言（案）

○支援体制について

1. 人魚館応援隊（既存）について

鵜の浜人魚館の固定的な利用者を確保するために有効と思われるので、見直す方向で検討されておられるとのこと、結果をお知らせ願います。

2. 新たに（仮称）人魚館サポータークラブ（NSC）を設立する

（1）呼びかけは、(株)大湊地域活性化センター及び趣旨に賛同する個人で行ない、下記の人材、個人の入会を呼びかける。

- ・鵜の浜人魚館が必要としているインターネットを使つての情報発信・PRできる人材
- ・環境整備をすすめる人材（花壇の花植、土手の草刈りなど）
- ・大湊区在住・在勤の個人、趣旨に賛同する個人

（2）事務局は、鵜の浜人魚館に置き、会員登録制とする。

（3）イベントの企画や館内演出及びサービスなどにもアイデアや意見を提案できる。

（4）その他

3. 人魚館運営協議会を設立して、大湊区内の各種団体との協議・連携の場とする。

（1）公の施設であり、大湊区の温浴施設でもあるので、地域住民の憩いの場、大湊区内の工場や商業・福祉施設や病院などで働く人達の健康維持、増進の場でもあるので、広く利用を促し、意見を求め、運営に活用する。

修繕等施設に関する情報共有や、他の観光施設等との情報交換・連携を図る。

（2）参加を呼びかける団体（案）

大湊観光協会、まちづくり大湊、（仮称）人魚館サポータークラブ、大湊商工会、大湊区町内会長協議会、NPO 法人大湊スポーツクラブ、大湊区総合事務所など

（3）呼びかけは、大湊区総合事務所及び趣旨に賛同する個人が行い、連絡先は大湊区総合事務所総務・地域振興グループとする。

（4）その他

○その他

1. 各種イベントのPRはインターネットを使用すると共に、大湊区内各町内会への回覧で事前に幅広く周知し、関係団体、企業、学校関係者に協力を依頼されたらどうでしょうか。

2. 鵜の浜人魚館開館 25 周年記念壁画製作に際して、長野県内にインターネットでクラウドファンディングを行なったように、施設改修などに多額の資金を要する場合は新潟県内外の個人および団体を対象に呼びかけたらどうでしょうか。

(仮称) <人魚館サポータークラブのイメージ>

- ・事務局は人魚館に置き運営は人魚館と運営サポータークラブで行う
- ・大湊区区民他、他地域にも呼びかける（大湊在住・在勤）
- ・個人による登録制
- ・無償または一部有償ボランティア（技術や経験を有するものは有償とする）
- ・イベント開催の企画運営費などの事業予算は地域独自予算を活用
- ・既存の応援隊はそのまま残す

大湊健康スポーツプラザ
鵜の浜人魚館

支援・協力

仮称<人魚館サポータークラブ>（運営サポーター）
人魚館が必要としている人的サポート
「人魚館」といえば、〇〇といったイメージづくり

大湊区民の声を反映するワークショップの開催
こども、高齢者、各団体 その他

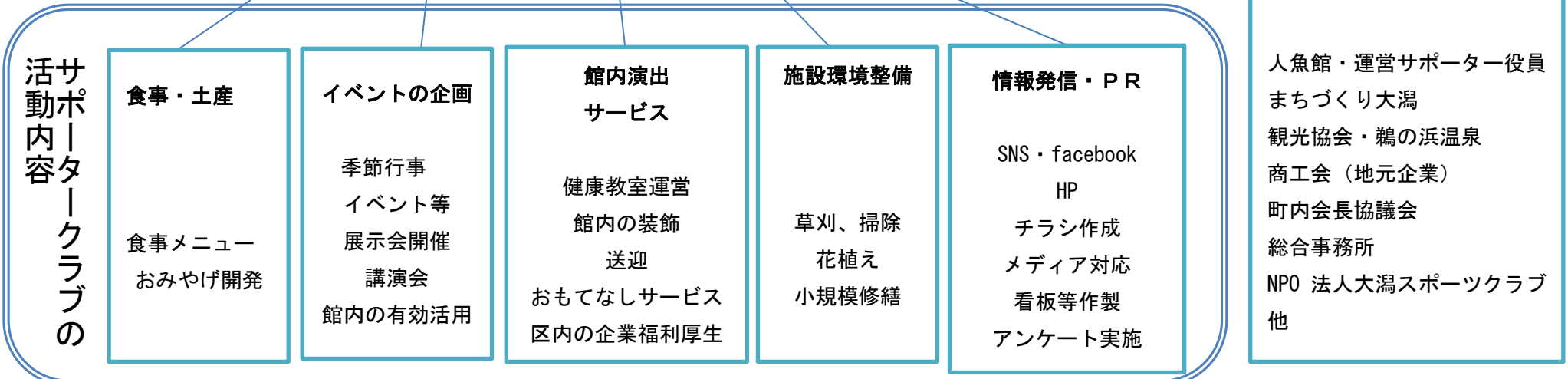
情報収集
健康・地域福祉

近隣観光協会
キャンプ場
ジムリーナ・大湊水と森公園

連携
観光

<運営協議会>
修繕や長期的な計画などの協議・連携の場

連携



各地域協議会による「地域活性化の方向性」の作成について（お願い）

1 「地域活性化の方向性」の作成目的

地域協議会による地域の活力向上に向けた議論を進めるに当たり、委員間の認識の共有はもとより、地域協議会と市の認識の共有を図るとともに、市の取組の企画の参考としたいことから、地域において特に重視したいこと、大切にしたいことを、各地域協議会において「地域活性化の方向性」として作成するもの

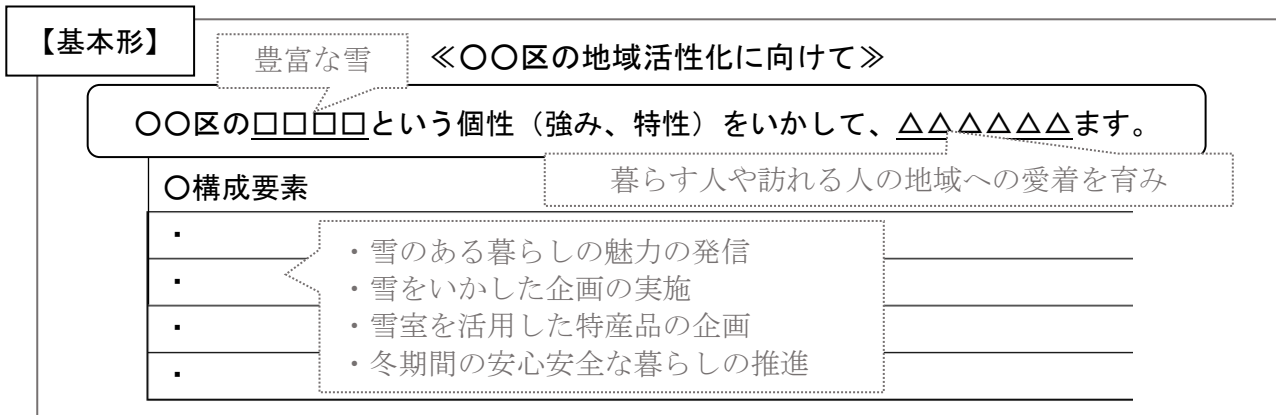
- ◎用途 (1)自主的審議、元気事業、意見書、地域への働きかけの取組における、各地域協議会及び総合事務所、まちづくりセンターの共通認識
 (2)市の取組の企画の参考とする考え方
- ◎作成主体 各地域協議会

2 「地域活性化の方向性」の作成の着手時期

各地域協議会において、令和4年度に地域活性化の方向性の作成を始めるようお願いします。

3 「地域活性化の方向性」の内容

- 幅広い分野（地域資源・産業・観光・農業・自然・風土等）の中から、各区の個性や特性をいかすことで、地域の活性化につなげるもの。
 - 地域の課題解消や現在の状態をさらに良くすることで、地域の活性化につながるもの。
 - 方向性の構成要素は、おおむね1～5つ程度で作成願います。
- ※全区で作成し、市民からも見ていただくため、一定の分かりやすさを必要とすることから、構成、書きぶりについて、下記の基本形に沿って作成願います。



4 「地域活性化の方向性」の作成後の取扱い

- (1) 各地域協議会の自主的審議のテーマの選定、元気事業や意見書の内容等を制限するものとはしません。
- (2) 他の団体等が作成した既存の地域の計画等（まちづくり計画、農業振興に関する計画等）を妨げるものとはしません。※協力して取り組むことで互いが良い方向に進める事項については、積極的な連携を考えていくことが想定されます。
- (3) 地域協議会による作成とするため、市全体の方針や考え方と異なる方向性（構成要素含む）の作成も可能ですが、そのような内容とする場合は、市の一体性の確保や公益性との間で整合を図ることができないことから、その方向性に基づく取組を市が行うことは困難です。

5 「地域活性化の方向性」の作成手順 ※令和4年度に次の①②を開始

- ①各事務局から地域協議会へ作成を依頼
- ②各地域協議会で作成（例：2～4回（アイデア出し1～2回、話し合い1～2回、まとめ1回など）。会議の後半の時間などを使って）
- ③完成

名立区における「地域活性化の方向性」

《名立区の地域活性化に向けて》

名立区の豊かな自然と歴史文化を活かし、次代を担う人を育て、地域で支え合う誰もが安心して暮らせるまちを目指していきます。

○構成要素

- | |
|-------------------------------|
| ・ 地域固有の資源（山・川・海 ほか）を活用した地域の振興 |
| ・ 歴史・文化の継承、平和を願う活動の継続・発展 |
| ・ 次代の名立区を担う人材の育成 |
| ・ 若い世代も一緒になったまちづくりの取組 |
| ・ いつまでも安心して暮らすことのできる福祉の充実 |
| ・ 地域全体での支え合いの推進 |

牧区における「地域活性化の方向性」

《牧区の地域活性化に向けて》

牧区の豊かな自然がもたらす多様な資源をいかして、
活力と魅力あふれる牧づくりを目指します。

○構成要素

・ おいしい水の恵みのPR（米、農産物、どぶろく 他）
・ 豊富にある山の食材の活用（ウド、ぜんまい、ヨモギ 他）
・ 樹木を活用した特産品の企画（メープルシロップ 他）
・ 四季折々に合わせたイベントの開催（灯の回廊、山里コンサート 他）
・ 子どもから高齢者までが生きがいを持って暮らすことの推進
・ 大自然の中の宿泊施設、公共施設の利用促進 （花の植栽、深山荘、歴史民俗資料館 他）

頸城区における「地域活性化の方向性」

《頸城区の地域活性化に向けて》

頸城区の豊かな自然や歴史・文化の資産を活かし、花と緑にあふれ、誰もが楽しく暮らせる「住みたい、訪れたいまち」を目指します。

○構成要素

① 大池・小池を活かした観光

② くびきのお宝（レールパーク、館）の活用

③ 季節の花が咲く通学路、ポケットパークの整備

④ 外国人の交流とファーマーズマーケット（買い物難民対策等）
の企画

⑤ 情報発信、子どもが楽しむ場の創出

板倉区における「地域活性化の方向性」

《板倉区の地域活性化に向けて》

板倉区の豊かな自然や文化、長い歴史をいかして、そこで暮らす人が誇りや愛着をもち、訪れる人が楽しめる地域づくりを目指します。

○構成要素

・米や蕎麦などの農作物の美味しさや魅力の発信
・豊かな自然環境や歴史文化をいかした企画
・美しい景観や里山風景を守る
・子どもたちに板倉を愛する心を育てる
・冬期間の安心安全な暮らしの推進
・「板倉に住みたい」「板倉に住み続けたい」と思えるような、地域づくり

令和4年度 頸北地区地域協議会委員合同研修会 アンケート集計結果 (抜粋)

1. 回答状況

委員参加者 33人 回答者 26人 回答率 78.8%

2. 講演会についての評価

評価	人数	%
とても良かった	8人	30.8%
良かった	13人	50.0%
悪かった	4人	15.4%
とても悪かった	1人	3.8%
無記入	0人	0.0%
計	26人	100.0%

【評価の理由】

- ・地域自治推進プロジェクトの提案内容の評価が的確で参考になった。(とても良かった)
- ・地域協議会の立ち位置がはっきり見えた。(良かった)
- ・他の地域との違いや、協働・参加の意味合いが理解できた。どの方向を強化すべきか見えてきた。(良かった)
- ・地域自治推進プロジェクトについて、もっと時間を取って欲しかった。(悪かった)
- ・新しい情報や内容、提案が聞きたかった。(悪かった)

3. 今回の研修会実施についての意見、感想 (テーマや実施方法、開催時期など)

- ・実施時期としてはよかった。
- ・ジムリーナでの開催はよかった。入場するよい機会となった。
- ・地域自治が活発に行われている事例を紹介して欲しい。
- ・悩んでいるところにこのテーマは、とても参考になった。

4. 来年度以降の合同研修会について意見・感想 (研修したいテーマ、開催時期など)

- ・今年度の同様の時期の開催がよい。
- ・まちづくり計画案づくりや地域自治研究者の講演を期待している。
- ・住民の意見・要望を具体的にどのように拾い上げるか、そのノウハウについて。
- ・協議会委員最後の年なので、次の委員につなぐテーマをお願いしたい。
- ・まちづくりの成功事例 (小布施・金沢)